



平成27年1月1日 城北コミュニティだより 第78号

明倫の里 城北 ともじび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」 ☎ 087-251-2141

城北地区人口

世帯数 2,798 (+ 6)

人口 6,148人 (+ 7)

男性 2,887人 (+ 8)

女性 3,261人 (- 1)

(平成26年12月1日現在)

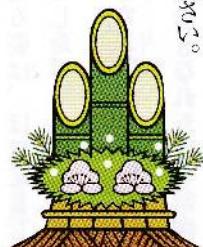
(カッコ内は平成26年11月1日比)

3月8日に開催
第15回城北明倫まつり
城北コミュニティなどで作
る実行委員会では第15回城北
明倫まつりを、3月8日(火)
午前9時半から明倫センター1

で開催します。同センターで
活動している生涯学習クラブ
が1年間の学習成果を披露す
るもので、当口は学習クラ
ブ員が舞台発表や作品展示を行
います。また、平山保育所

幼児のかわいい特別参加や地
域住民の賛助出品もあります。
さらに抽選会、住民グル
ープによるバザー出店も予定
しています。

春の一日、クラブ員の発表
会をお楽し
みください。



「楽しいようかいコロコロ」 プチニャンのようかい

この作品は、友だちとなかよく遊べます。

ビー玉の大きさやころがしかたをかえると、楽しく遊ぶことができます。

みんなでなかよくなるようにと考えてつくりました。

城北小学校3年 横山陸翔

城北コミュニティホームページ
<http://johoku-c.her.jp/>



城北まちづくり計画Ⅱ

城北まちづくり計画Ⅱの策定委員会が10月17日と11月26日に明倫センターで開催されました。まちづくり計画は5年前に作られ実践されていますが、27年4月以降次の5年間のまちづくり計画を作成します。

鈴木会長や各分科会部長等30人ほどが参加して、昨今の自然災害等の現状から、今は危機管理分科会を作り防災計画の充実を図ること。

5年間を3段階に区切り具体的目標を掲げ実践化を図ること。この計画を各家庭に知らせる方法を工夫することなど、より良い計画をめざして熱心に討議が行われました。

各自治会の防災活動

最近多発する災害に備え、地区連合自治会が11月5日「香川県シェイクアウト」に参加し、各自治会も地域の特性に合った独自の防災活動に取り組んでいます。

林さんは「城北地区の全自治会が、自分の地域にあつ



ヘルメットは必需品

た訓練を、最低、年一回は実施し、災害に対して自分の身は自分で守る意識を育てて欲しい」といっています。

今年度の各自治会の防災活動は、▼瓦町・米松魚宗・葭町

／市の防災出前講座を受講、

参加者28人▼御供所町連合自

治会／市の防災出前講座を受

講座を受講、シェイクアウト

避難訓練を実施、参加者70人

▼土居町北部／市の防災出前講座を受講、シェイクアウト

参加後避難訓練を実施▼風袋

町／自治会自主防災会の立ち上げを準備中、市の防災出前講座を受講、参加者27人

第57回城北防犯パトロール

隊意見交換会が、11月5日に

開催されました。

初めて行政・丸亀警察署か

ら隊員に日頃のねぎらいの言

葉をいただきました。意見交換会では、双方の立場からの意見が出され安心が守られる、守りたいとの意思の確認をしました。隊員の健康管理を考え万歩計の歩数で四国靈場88箇所仮想巡拝を楽しんでいただきたいと地図表を配布しました。隊員も高齢化しているため毎日を元気に活躍してほしい一念です。

また、若い隊員の参加を募集中しています。子どもの登下校の時間にパトロールできる方は協力をお願いします。

さすが！なんでもできる

た。魚のホイル蒸しはホイルに包みきれないほどの野菜のスイートポテト、野菜たっぷりでおいしくいただきました。

（保健部会）

親子ハゼ釣り大会

土器川河口で11月2日、釣り場付近を清掃の後、「親子

ハゼ釣り大会」が開催されました。干潮の中、釣り場を考

え右往左往しながらも、樂しいハゼ釣り大会でした。

審査順位は次の通りです。

- ①藤井駿 ②白井七葉 ③中島正也 ④亀井光 ⑤岡田航輝
⑥堀口蘭
(環境部会)

長年の清掃活動に表彰

環境部は10月16日、城北小学校低学年児童と城北幼稚園

児で東汐入川緑道公園の清掃活動をしました。明倫センタ

ー馬瀬實副会長が、「長年の

清掃活動にロータリークラブ

より「善行表彰」を受けまし

た。これからも長く続けて下さい。」と挨拶がありました。

清掃終了後、園児が「一年生になつたらよろしくお願ひします。」児童が「待つてます。」

ています。

次回は風袋町周辺を計画し

と応える姿は、ほほえましい光景でした。（環境部会）

第2回まち歩き

土居町周辺

普段歩きなれた街も、探索してみると何かしら新しい発見があり、住んでいる土地に一層愛着が湧き、楽しみなものです。

11月3日、文化部会主催の第2回まち歩きに31人が参加し、古地図を片手に土居町周辺を2時間ほど歩きました。



学園の現場から

土居保育所

所長 児玉貴美子



どんぐりいっぱい拾ったよ

力サカサ：積もつた落ち葉を踏みしめながら歩く。北風が木々をこする不気味な音に「すごいなあ」と驚いたり、「こわい！」と保育士にしがみつき泣き出したり…。また、一面に散らばつたいろいろな形や大きさのどんぐりを見つけ嬉嬉として拾い、職員の用意した大きな袋は見る見る一杯になり一人で運べないほどの大収穫で大満足で帰つたことも…。行きかう観光客と挨拶を交わしながら、5歳児は3歳児をリードしながら天守閣を目指す。土居保育所にとつて身近にある亀山公園での「ひまわりタイム」と称して計画実施

声：どうやら声は天守閣についた3・4・5歳児のようですね。姿は見えないけど、声に向かって「おーい」と手を振りました。年が明けたら冬に向かって「おーい」と手を振ります。お城で遊びます。友達や自然とふれあい、心も豊に体も逞しく健やかに育つて欲しいと願い関わっています。

すると、「おーい」と聞きなれた声：「おーい」と聞きました。しばらくすると、「おーい」と聞きたかった。しかし、地域住民に登場を願う連載企画です。今回は「私のライフワーク」ですが、「私の休日」「エコのすすめ」「思い出アルバム」「ちょっと便利」おすすめの一品など登場者に合ったタイトルを考えています。

自薦他薦歓迎です。明倫セ

ンターまでお知らせください。

城北コミュニティだより「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行（1月、4月、7月、10月の各1日付）

学園の現場から

土居保育所

所長 児玉貴美子

蝶が湧く

あなたの手紙から

いっぱい

御供所町の福岡俊子さん

は、自宅の庭先で川柳の句作り

をするのを日課にしています。

福岡さんは川柳番傘の同人

で、現在は丸亀番傘会

川柳を人生の目標に

御供所町 福岡 俊子さん

の会長。川柳「番傘」誌の巻

頭を度々飾っており、川柳会

の選者や新聞の柳壇選者を務

めるなど経験豊かです。雅号

は「紫蝶」。冒頭の句は福岡

さん一押しの作品。亡きご主

人の思い出をつづったもの。

その後、丸亀在住だった川

柳界の大御所、安田蝶の助さ

んと出会い指導を受けました。

「紫蝶」は安田蝶の助さ

んが名づけ親。紫

は最高の色とか。

「川柳と出会えて

人生の目標ができる

ました。探求心が

養われたことが生

活の中で大きなブ

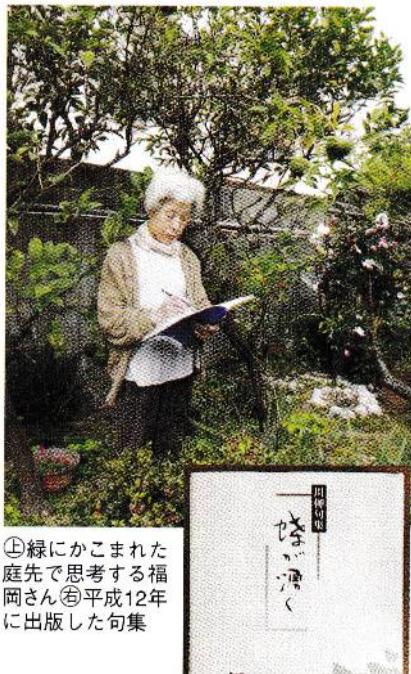
ラスとなりました。ほかの道

は考えませんでした」

子ども時代からの大の読書

好きは今も変わりません。

私の
ライワーク
My Lifework



④緑にかかるまされた福
庭先で思考する福
岡さん平成12年
に出版した句集

かなえられました。また城北小学校の建て替えが進み、今春には新築落成を迎えます。白堜の校舎を日の前にして子どもたちの明日への夢や希望が伝わってくるようになります。「明倫の里 城北」地区の活性化がより一層深まるこ

とを期待します。

（佐野R）

「城北コミュニティセンター」の名称を「ともしび」
紙上では「明倫センター」と表記しています。